

令和6年度

発表日：令和6年4月26日

農作物病害虫発生現況情報（4月） 水稻編

岩手県病害虫防除所

育苗施設における病害発生状況（調査日：4月22～24日）

1 細菌病類

(1) 育苗施設の巡回調査では、2施設で発生が確認された（表1）。

2 苗立枯病

(1) 育苗施設の巡回調査では、1施設で発生が確認された（表1）。

3 ばか苗病

(1) 育苗施設の巡回調査では、12施設で発生が確認された（表1）が、いずれも発病程度は低かった。

表1 育苗施設の病害発生状況

調査地域	調査育苗 施設数	病害発生施設数		
		細菌病類	苗立枯病	ばか苗病
県中部	9	2	0	7
県南部	7	0	1	5
沿岸部	1	0	0	0
合計	17	2	1	12

農作物病害虫発生現況情報（4月） 麦 編

1 雪腐病

- (1) 3月下旬～4月中旬の巡回調査（35圃場）では、発生圃場率2.9%（平年19.3%）で平年より低かった（図1）。
- (2) 地域別では、県北部のみで発生を確認し、発生圃場率は16.7%（平年43.3%）で平年より低かった（図2）。

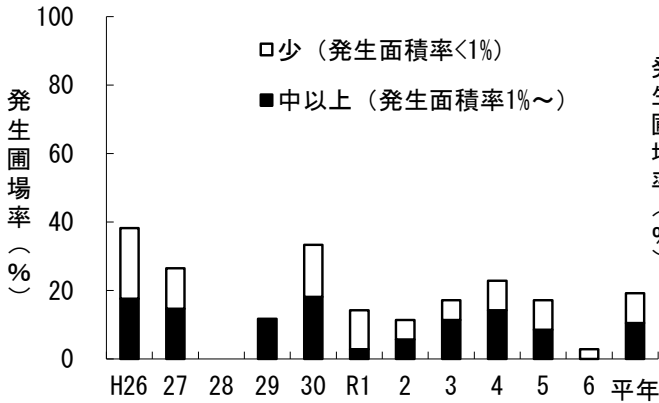


図1 雪腐病の発生圃場率の年次推移
(3月下旬～4月中旬)

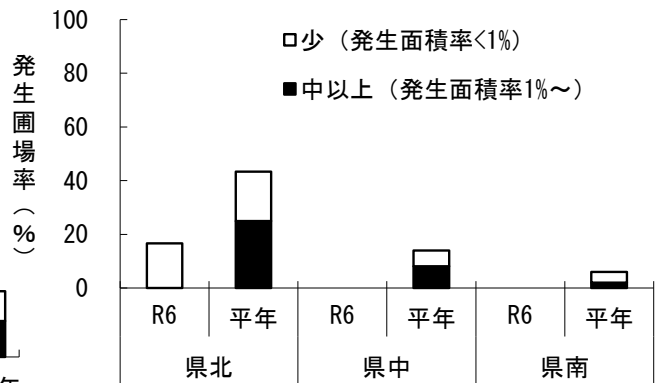


図2 雪腐病の地域別発生圃場率
(3月下旬～4月中旬)

2 萎縮病類

- (1) 3月下旬～4月中旬の巡回調査（35圃場）では、発生圃場率5.7%（平年25.4%）で平年より低かった（図3）。
- (2) 品種別では、発生を確認したのはナンブコムギのみで、発生程度が高かった。

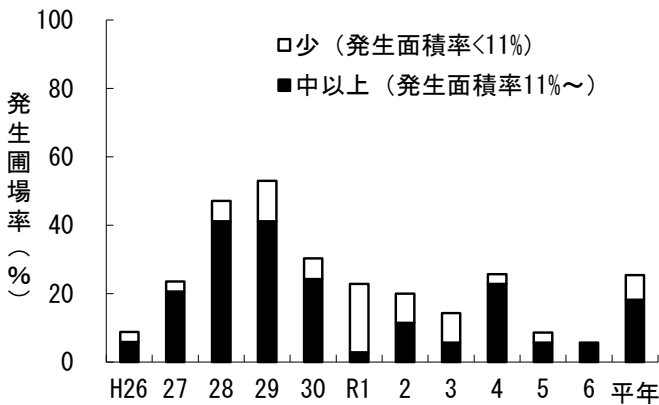


図3 萎縮病類の発生圃場率の年次推移
(3月下旬～4月中旬)

3 ムギダニ

- (1) 巡回調査圃場では、確認されなかった。

農作物病害虫発生現況情報（4月）りんご編

1 腐らん病

(1) 展葉期の巡回調査における発生園地率は、29.0%（平年19.4%）であり平年よりやや高かった（図1）。

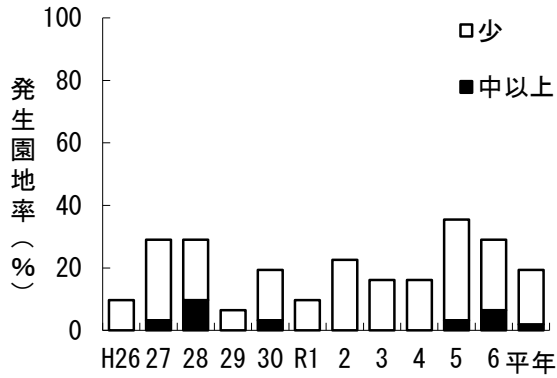


図1 腐らん病の発生園地率の年次推移（展葉期）

- ・少は発病指数0.04～0.5、中以上は発病指数0.5超。
- ・発病指数は10樹当たりの「胴腐らん+枝腐らん×0.1」。

2 リンゴハダニ

(1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査における越冬卵の寄生園地率は、12.9%（平年35.6%）で平年より低かった（図2）。

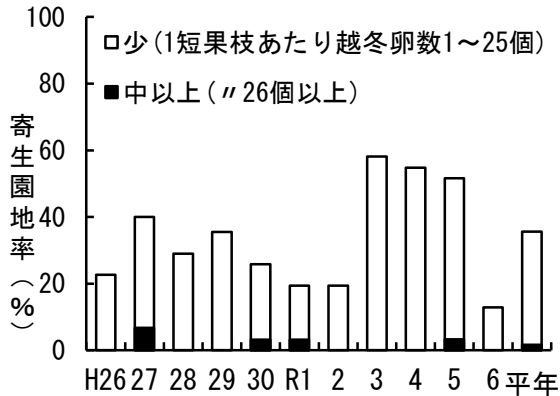


図2 リンゴハダニ越冬卵の寄生園地率の年次推移

3 ナミハダニ

- (1) 4月中旬の巡回調査における花叢葉での発生は見られなかった（平年19.0%、図3）。
- (2) 4月中旬の巡回調査における下草寄生虫の発生園地率は6.5%（平年36.6%）で、平年より低かった（図4）。

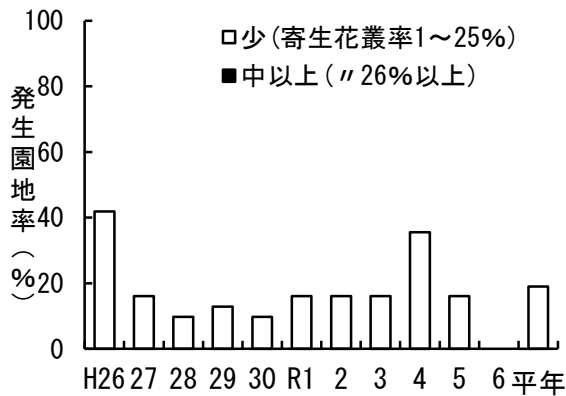


図3 ナミハダニの発生園地率の年次推移(花叢葉)

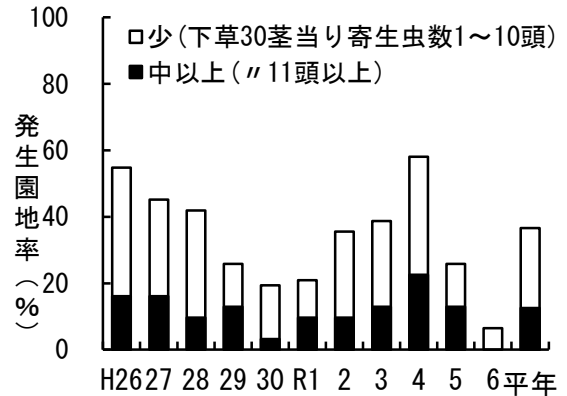


図4 ナミハダニの発生園地率の年次推移(下草)

4 ハマキムシ類

- (1) 4月中旬の巡回調査における発生園地率は25.8%（平年4.5%）で、平年より高かった（図5）。

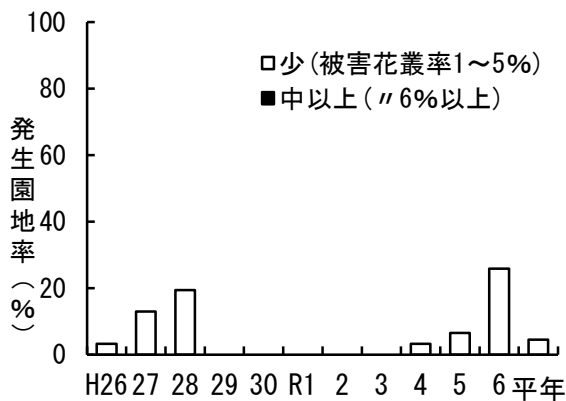


図5 ハマキムシ類の発生園地率の年次推移

5 アブラムシ類

- (1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査における越冬卵の寄生園地率は16.1%（平年29.8%）で、平年よりやや低かった（図6）。
- (2) 4月中旬の巡回調査における発生園地率は48.4%（平年72.9%）で、平年より低かった（図7）。

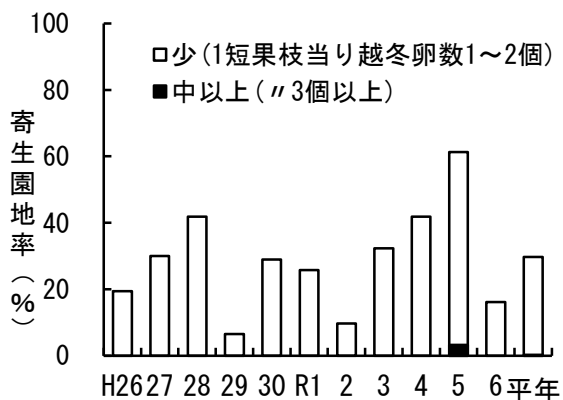


図6 アブラムシ類の寄生園地率の年次推移

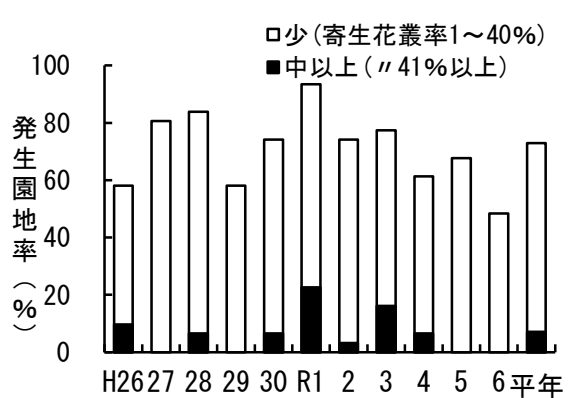


図7 アブラムシ類の発生園地率の年次推移

6 果樹カメムシ類

(1) 簡易トラップによる令和6年のクサギカメムシの越冬量は、盛岡市では例年より少なく、金ケ崎町では例年並、一関市では例年より少なかった(表1)。

表1 簡易トラップによるクサギカメムシ越冬量
調査年 頭数/地点名

調査年	盛岡市	金ケ崎町	一関市
H30	575	8	19
H31	337	55	31
R2	379	67	16
R3	186	92	12
R4	637	61	7
R5	206	46	4
R6	76	65	9
平均値	387	54	15

※簡易トラップは、りんご木箱に新聞紙を重ねて詰め込み、園地内にある納屋の軒下等に設置した。

※平均値はH30～R5のデータを用いている。

農作物病害虫発生現況情報（4月）キャベツ編

1 コナガ

- (1) 基準圃場（北上市）でのフェロモントラップによるコナガの誘殺は、4月第1半旬から認められた（図1）。
 (2) 特定圃場（軽米町）でのフェロモントラップによるコナガの誘殺は、4月第2半旬から認められた（図2）。

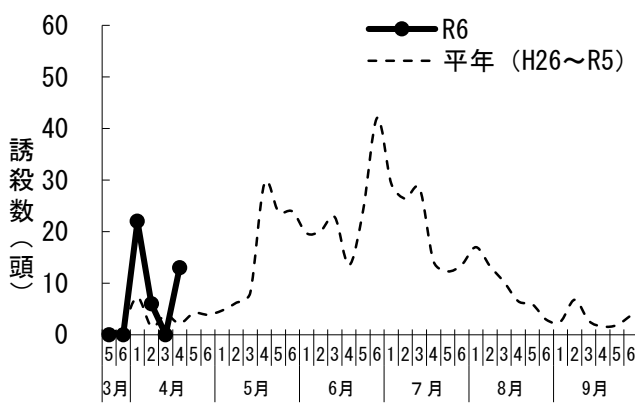


図1 北上市におけるコナガの誘殺状況
 ※トラップ設置日：令和6年3月1日

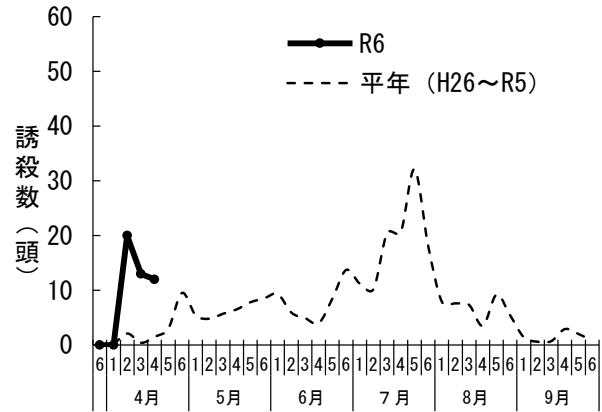


図2 軽米町におけるコナガの誘殺状況
 ※トラップ設置日：令和6年3月26日

農作物病害虫発生現況情報（4月） ねぎ編

1 ネギコガ

(1) 特定圃場（北上市成田）における第1世代幼虫のふ化は、平年よりやや早い4月14日に確認された（表1）。

表1 越冬ねぎ圃場におけるネギコガ第1世代幼虫の産卵・ふ化（被害葉）確認日

年次	産卵確認日	ふ化確認日
H26	4月4日	5月2日
H27	4月6日	4月20日
H28	4月6日	4月15日
H29	4月5日	4月20日
H30	3月29日	4月20日
H31	3月19日	4月19日
R2	3月24日	4月25日
R3	3月15日	4月15日
R4	3月31日	4月17日
R5	3月9日	4月7日
R6	3月25日	4月14日
平年	3月28日	4月18日

※H26～29：農業研究センター内圃場（北上市）

H30～R5：花巻市内現地圃場

R6：特定圃場（北上市成田）